

# 熊本地震を忘れないために

11月20日（日）町内各地で総合防災訓練が行われました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの自然災害に迅速に対応できるよう日ごろから備えるため、町が主催。甲佐町消防団や各自主防災組織などが参加し、町内各地でさまざまな訓練に取り組みました。

## ■甲佐町総合防災訓練

11月20日（日）町内各地で甲佐町総合防災訓練が開催されました。

同訓練は午前8時に大地震による特別警報が発表されたという想定で実施され、防災行政無線での訓練放送と同時に各地で訓練がスタートしました。

西寒野区では、防災資機材の用途や使用方法の習熟を目的に自主防災組織の副班長以上の14人が参加。また、歩行困難者の救出を想定した訓練を行い、搬送方法を確認しました。

岩下二区では、消防団員や地域住民が避難の手順確認を行いました。また、甲佐町食生活改善推進員の古田俊子さん（岩下二区）が災害時に役立つ「バッククッキング」について説明。「普段できないことは、いざという時でできません。日頃から練習しておきましょう」と呼び掛けました。

町生涯学習センターでは、防災士会熊本県支部の市下潤子さんとくまもとクロスロード研究会の松里健一さんが講演。町職員が災害時の行政運営について意見交換を行い、防災力の向上に努めました。



## 甲佐高校×地域住民×若草保育園

### 地域で取り組む災害への備え

甲佐高校（堀川丞美校長）では、横田区（大塚享区長）と若草保育園（元村健正園長）が合同で防災訓練を実施しました。

10月12日（水）避難訓練が甲佐高校で行われ、甲佐高生や近隣住民、若草保育園の園児など約300人が参加。町では、災害時に甲佐高校を一時避難所として緊急利用できる覚書を交わし、避難環境を整えています。



▲甲佐高校の校庭で避難手順を確認する参加者



1\_土のう作りの作業手順を確認する上早川四区の皆さん 2\_水消火器を使った消火訓練を行う津志田区の皆さん 3\_「バッククッキング」について学ぶ岩下二区の皆さん 4\_足を骨折した負傷者を想定して救助する西寒野区の皆さん 5\_災害時の対応について学ぶ甲佐町職員







秋の火災予防運動

## 甲佐町消防団が防火啓発 パレードを実施

■ 甲佐町消防団が町内巡回で  
火の用心を呼び掛け

11月13日（日）町内全域で防火啓発パレードが行われました。

パレードは、11月9日（水）

15日（火）の「秋の全国火災予防運動」に合わせて甲佐町消防団（井藤朋紀団長）が毎年実施。火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、防火意識を高めてもらうことで火災発生を予防し、尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

パレードに先立ち、井藤団長が「空気が乾燥し、火を扱う機会が増えるこれからの時期は火災が発生しやすくなります。呼び掛けを十分に行い、火災予防に努めましょう」と訓示しました。参加した団員ら46人は、消防車両28台に乗り込み、宮内・甲佐・竜野・乙女・白旗の各地

域に分かれて巡回。拡声器で「火の取扱いや後始末に気をつけましょう」などと火の用心を呼び掛けました。

■ 若草保育園の園児が防火を  
呼び掛けパレード

11月11日（金）「秋の全国火災予防運動」に合わせて町商店街などで若草保育園の幼年消防クラブ、甲佐町消防団による防火パレードが実施されました。

同パレードは、防火に対する意識の向上や火災予防の呼び掛けを目的に3年ぶりに開催。

幼年消防クラブの園児たちが町商店街で住民に防火啓発のチラシを配った後、町役場に向かい、師富省三副町長を表敬訪問。幼年消防クラブ員17人は「火遊びは絶対にしません」などと大きな声で「防火の誓い」を宣言しました。



▲ 隊列を組み火災予防を呼び掛ける園児たち



▲ 師富副町長を表敬訪問した園児たち



▲ 防火啓発ポスターを受け取る住民